所在	筑紫郡那珂川町	事業主体	北山興産
問い合わせ先	092-952-8848	見学	2009.12.10
施設名	那珂川「清滝」	運転開始年	2009年5月
出資比率	補助申請中	原料	木質チップ （家具＋建築廃材）
利用法	熱利用	原料調達費	1,500円／立方（不含運搬費）
システムフロー （フロー図）			

導入前重油ボイラ

右：重油ボイラ
左：木質バイオマスボイラ

システムフロー （施設前景）	

木質バイオマスボイラ

木質燃料用サイロ

家具廃材由来の木質燃料

施設仕様	設備形式：木屑焚きボイラーによる熱利用 ・木屑焚きボイラー 約1,000kw（中村鉄工所製；佐賀県企業）
運転状況	①稼働時間 18h／日、年間ではメンテ以外は運転 朝１時間は、重油ボイラを補助とメンテをかねて運転 ②熱利用 タクマボイラ（TWA-1500；3基）の約80%、ガスボイラの約30を代替
コスト （イニシャルコスト）	①イニシャルコスト 約7,000万円（ボイラ本体、ボイラ建屋、チップ貯留庫などを含む） 補助金申請中、昨年度からの申請が停滞
コスト （ランニングコスト）	①ランニングコスト 一日10～12立方の購入費（チップ購入費　1,500円／立方） 灰は、建築廃材のため有害物質が含まれており、産廃処理が必要 同費用は、6,000円/200ﾘｯﾄﾙドラム缶（含輸送料）で約月10缶相当
効果	①重油の消費量が1/30となり、プロパンガスでは30%の削減となり、さらにボイラ管理費も約30%の削減となっている。 ②他による試算では、CO2削減量は、年間で950トンである
施設運営上の課題	①チップが建築廃材由来であるために、課題多し。 ②燃料に異物（金属、未チップ材）が含まれることがあり、 燃焼時のトラブル発生となる。 ③燃焼灰の量が多く、かつ炉内で固まり、その除去に非常に手間がかかる。 ④灰は産廃処理をする必要がある